

幼児教育・生活科における 子ども相互の学びをつなぐ支援の在り方

—子どもが発するオノマトペなどの言葉に目を向けて—

保育指導案 2年保育年長（5歳児）

「どろであそぼう」

1 最近の幼児の姿

〈興味・関心・遊びの内容〉

- 戸外での遊びを好む幼児が多く、天気がよい日はほとんどの幼児が戸外に出て遊んでいる。1学期から、砂・土・水を使った遊びが盛んで、男児は砂場で穴を掘ったり、パイプをつないで水を流したり、山やトンネルをつくったりした。また、女児は「さらさら砂」をつくり、ままごとに使ったり、型抜きをして楽しんだりした。
- どろだんごづくりに挑戦する幼児は多く、だんごをつるつるにすることや硬いだんごをつくることなどを繰り返し楽しんでいる。また、さらさら砂を使って、だんごを磨く姿が多く見られた。しかし、つくったどろだんごを友達と比べ合ったり、転がしたりして遊ぶ姿はまだ少ない。

〈人とのかかわり〉

- ほとんどの幼児が、自分の好きな遊びを見つけて遊んでおり、気の合う友達3～4人と毎日一緒に遊ぶ姿が見られる。教師や友達に対して、自分の体験したことや気持ちを話すことができるようになってきた。
- 気の合う友達同士の関係はできているが、遊びの中で幼児一人一人の学びが共有され、価値付け合えるような援助の在り方に、これまであまり視点をあてていなかった。

2 期のねらいと内容（8期 5歳児 9・10月）・・・研究テーマに関連した部分のみを抜粋

- 【健康】 ○ 自分で活動を選び、楽しんで取り組もうとする。
 - ・ 友達と競ったり、力を合わせたりして体を十分に動かす。
- 【人間関係】 ○ 友達と共感しながら、力を合わせて遊ぶ楽しさを知る。
 - ・ 共通の目的をもって友達と一緒に遊んだり、遊びのルールを決めたりする。
- 【環境】 ○ 身近な自然と触れ合う中で、よく見たり、考えたり、試したりして、ものの性質や仕組みに関心をもつ。
 - ・ 遊びの目的に応じて、場を工夫したり、必要な物を準備したりする。
- 【言葉】 ○ いろいろな体験を通して感動を共感し、言葉で伝えようとする。
 - ・ 自分の考えを相手にわかるように伝えたり、相手の思っていることに気付いたりする。
- 【表現】 ○ 感動したことを伝え合い、自分なりの表現を楽しむ。
 - ・ 感動したことを絵・文字・言葉などの表現で伝え合ったり、共感したりする。

3 保育計画

段階	幼児の活動	教師の援助	期待できる言葉
つかむ過程	<p>○ どろであそぼう</p> <ul style="list-style-type: none"> 土山の変化に気づく。 土山で遊ぶ。  <p>チョコレートみたい!</p>	<ul style="list-style-type: none"> 硬くなった土をほぐす。 土の量を2倍に増やす。 どろ遊びに必要なバケツやペットボトルを10~20程度準備する。 教師は、大型シャベルなどを使って土山を掘ったり、水を入れて混ぜたりし、一緒に遊びの場をにつくっていく。 どろだんごに関する絵本を読み聞かせ、次の活動の方向性を示す。 	<p>◇ どろの感触</p> <p>「べたべた」「ぺたぺた」 「どろどろ」「とろとろ」 「たぷたぷ」「ぽよぽよ」 「ぐちゅぐちゅ」 「ぷりんぷりん」 「チョコレートみたい」 「クリームよ」 「僕、だんごやさん」 「べとべとができたね」 「ぎゅぎゅってにぎる」</p>
さぐる過程	<p>○ どろだんごをつくらう</p> <ul style="list-style-type: none"> 土山のどろだんごのもとを使って、お気に入りの場所でどろだんごをつくる。  <p>おもちみたい</p>	<ul style="list-style-type: none"> どろ遊びの場を設定し、バケツやたらいに土山の土を入れ、学級のテラス前に置く。 土山の土の他に、畑や田の土も準備しておく。 どろだんごを転がして遊ぶことができるように、雨どいなどを準備する。 幼児がつくったどろだんごを写真に撮り、友達に紹介したり、学級全体でどろ遊びをする時間を設けたりする。 	<p>◇ どろだんごづくり</p> <p>「かたい」「やわらかい」 「おおい」「ちいさい」 「おもちみたい」 「パタパタするといいよ」 「にぎにぎ」</p> <p>◇ どろだんご転がし</p> <p>「ころころころころ」 「ころんころん」 「かちんかちん」 「割れるかもしれない」 「僕の投げてもこわれん」</p>
深め広げる過程	<p>○ つるつる、ピカピカのどろだんごをつくらう。</p>  <p>ならべてみよう</p> <p>○ かちかちのどろだんごをつくらう。</p>  <p>かちんかちん</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教師がつくった光るどろだんごを提示する。 既製の光度表①に加え、教師や幼児がつくったそのものが比べる対象となるように、新しい光度表②(教師や幼児の作品の写真)や光度表③(実際の作品を展示)をつくる。 できた作品を帰りの会などの時間に友達に紹介する時間を設ける。 親子で一緒につくる日を設定し、どろ遊びの楽しさを共有してもらう。 	<p>◇ さらさら砂かけ</p> <p>「さらさら」 「すべすべ」 「つるつる」</p> <p>◇ 光るどろだんごづくり</p> <p>「つるつる」 「きらきら」 「ぴかぴか」</p>

4 週案 (今週のねらい, 内容, 幼児の活動など)

5歳児 8期 10月 第2週 (10月3日～10月7日)			
幼児の姿	<p>運動会を通して, 戸外での遊びが盛んになってきた。いろいろな遊びに挑戦しようとする姿が見られる。</p> <p>運動会の練習のために, 自由に遊ぶ時間が限られていた。砂や土にかかわって遊ぶ欲求が高まってきていると予想される。</p> <p>どろだんごづくりにまだ興味を示していない幼児も4～5名いる。</p>	物的環境	<ul style="list-style-type: none"> ○ 土山を見直す。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 土の量が減り, 土山が硬くしまってきている。土を入れ, かかわりやすい環境にしたい。(10/3に2m³入れる) ○ どろだんご用の土の種類を増やす。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新しいまき土に加え, 黒土を準備し, 幼児が自分で選ぶことができるようにする。
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 戸外で土や水とかかわり, だろの感触を楽しむ。 ○ 運動会で楽しんだ遊びを繰り返す楽しむ。 ○ 自分が気付いたことを言葉を使って友達に伝えようとする。 	援助と配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○ どろだんごをつくる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ つくる過程を大切に, 幼児の発する言葉に共感したり, 友達の気付きに共感することができるように助言したりする。 ○ どろだんごを磨く。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 手や指で土をはらって磨くことを中心にしたい。布を準備することは次週以降の援助にする。 ○ どろだんごを転がす。 <ul style="list-style-type: none"> ・ どろだんごを転がす場合は, 幼児の思いを大切に, 幼児のアイデアを生かすようにする。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土と水を混ぜ合わせ, だろの触感や形状の変化を楽しむ。 ・ 竹馬やくるくるスキップなど, 高さや速さなど自分なりの目標をもって挑戦する。 ・ 自分の気付きを自分なりの言葉で表現したり, 友達の気付きに共感したりする。 		
日曜	3日(月)	4日(火)	5日(水)
行事	代休	教育実習(1日目), 絵本返却	検証授業(A組)
幼児の活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運動会(10/1)の代日 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体育遊び(リレー) ○ 実習生を迎える会に参加する <ul style="list-style-type: none"> ・ 実習生の自己紹介を聞く。 ・ 新しい友達Y子の紹介 ○ 好きな遊びをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ どろ遊び ・ どろだんごづくり ・ 鬼ごっこ, はないちもんめ ・ 竹馬乗り ・ くるくるスキップ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 好きな遊びをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ どろ遊び ・ どろだんごづくり ・ どろだんごころがし ・ 砂遊び ・ 竹馬のり ・ くるくるスキップ ・ 家族ごっこ ・ 鬼ごっこ
絵本		よーい, どん!, どろんこようちえん	もこもこもこ, どろだんご
歌		でんでんむしどこだ(手遊び)	でんでんむしどこだ(手遊び)
反省		<ul style="list-style-type: none"> ・ 先週とは違う量の土山に気付き, 学級の3分の2が土山にかかわった。土を掘ったり, だろの感触を楽しんだりしている。土山の場所が狭くなったため, だんごづくりの場を保育室前に移してみた。さら砂を箱に集めていたこともあって, 細かな作業が落ち着いてできた。土山でのダイナミックなだろ遊びと, だろだんごづくりとは, 別の場所に場づくりをした方がよい。 ・ どろだんごづくりが活動の中心となり, 転がす場面が見られなかった。明日は, 雨どいなどを使って幼児と一緒に場づくりをしたい。転がすことに興味を示すように20～30個どろだんごをつくっておこう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ テントの中での活動となったが, 保育室から近い環境であったため, ほとんどの幼児がだろ遊びにかかわることができた。だろの感触を楽しむ子, 転がして遊ぶ子など様々な遊びが見られた。「べとべと」や「粘土みたい」などの言葉も聞かれ, 楽しさを共有することができた。 ・ Y子は, だろだんごを光らせた様子である。乾燥したさらさらの土が足りなかったため, 実現させることができなかった。ビニル袋に保存し, 毎日継続して磨いていくことで, 少しずつ光るようになる喜びを味わわせたい。

5 本時の展開

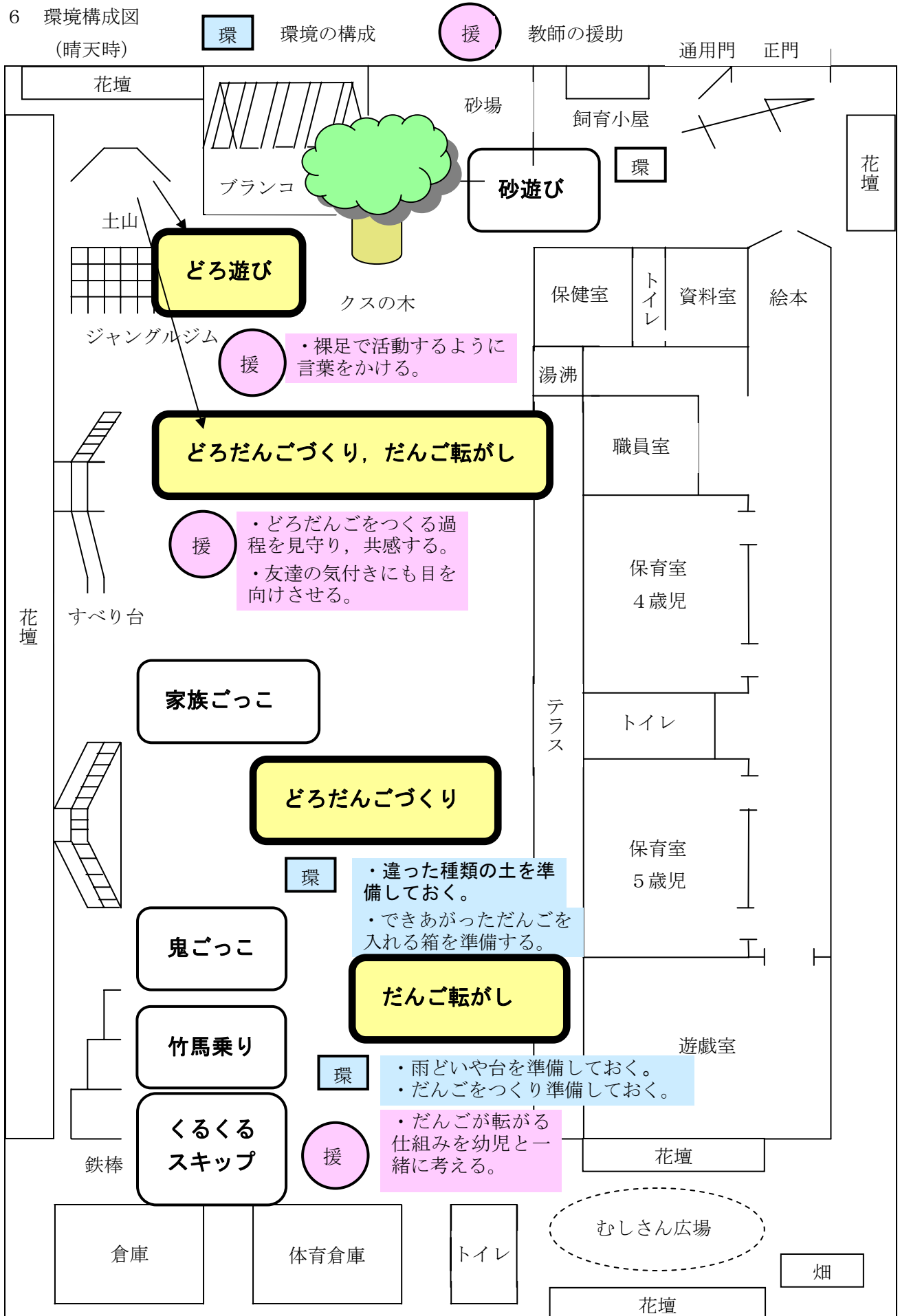
5 歳児 A 組 (黄色帽子)

10 月 5 日 (水)

ね	○ 戸外で土や水とかかわり, だろの感触を楽しむ。
ら	○ だろを使つての遊びを自分なりに工夫する。
い	○ 自分が気付いたことを言葉を使つて友達に伝えようとする。
内	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土と水を混ぜ合わせ, だろの触感や形状の変化を楽しむ。 ・ だろだんごをつくったり, だろだんごを転がしたりして遊ぶ楽しさを味わう。
容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の気付きを自分なりの言葉で表現したり, 友達の気付きに共感したりする。

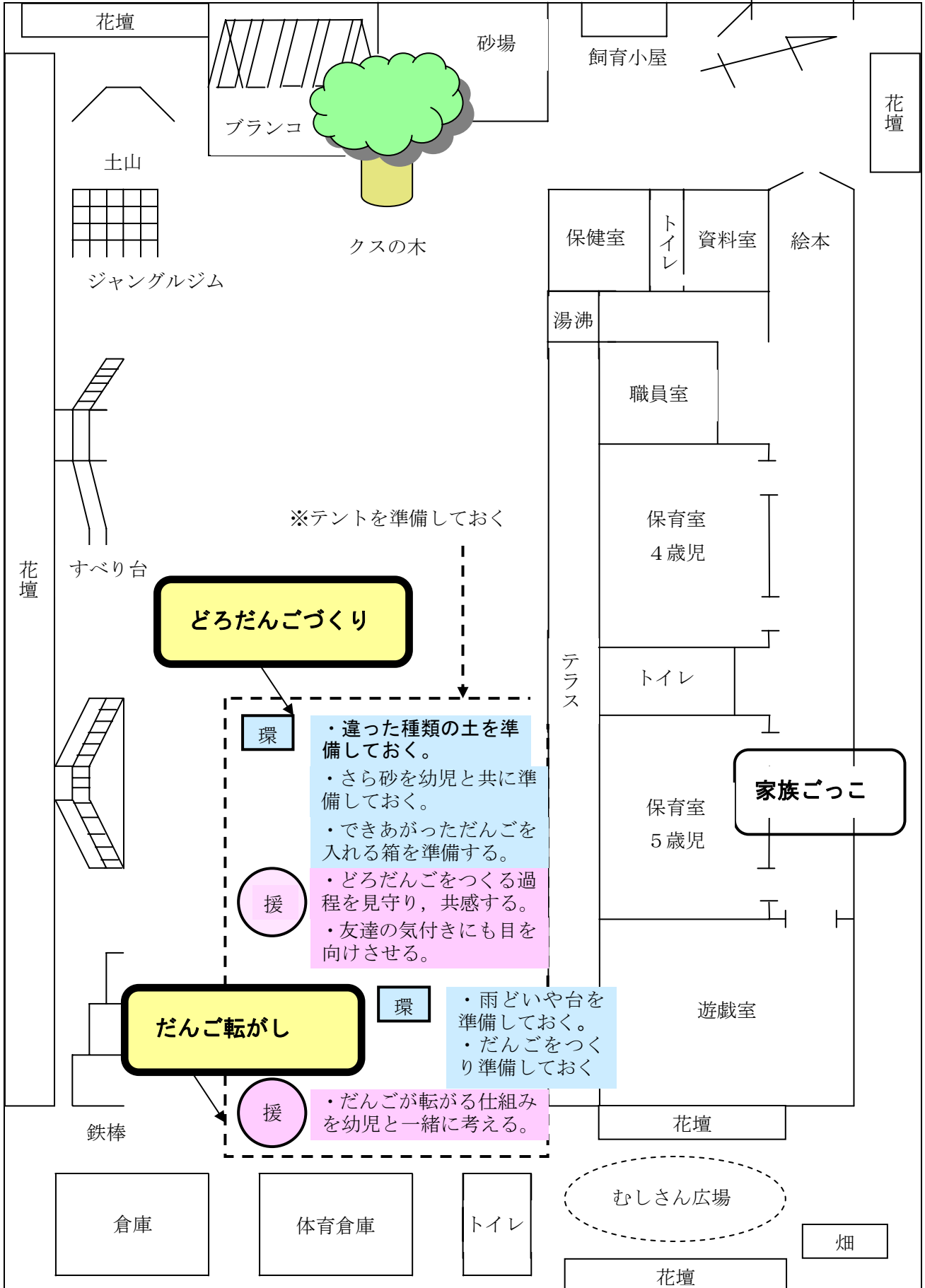
時間	1 日の生活の流れ	予想される幼児の活動 (教師の願い)	教師の援助
9:00	<ul style="list-style-type: none"> ○ 登園する。 ・ あいさつをする。 ・ 出席シールを貼る。 ・ 荷物の整理をする。 	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p><u>だろで遊ぶ</u>: 水を入れたり, 混ぜ合わせたりして, だろの感触を味わう。(裸足で開放感を味わってほしい。)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土山の他に違つた種類の土を準備しておく。 ・ 水を運びやすいようにバケツやペットボトルを 10~20 個程度準備しておく。
9:15	<ul style="list-style-type: none"> ○ 好きな遊びをする <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ だろで遊ぶ。 ・ だろだんごづくりをする。 ・ 砂場で遊ぶ。 ・ 竹馬乗りをする。 ・ くるくるスキップをする。 ・ 家族ごっこをする。 ・ 鬼ごっこをする。(高鬼) </div>	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p><u>だろだんごづくりをする</u>: 土山の土でだろだんごをつくり, 園庭の乾いた土をかけてる。(だろだんごの表面の様子や硬さなどに気付いてほしい。)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達が発した言葉に共感している幼児の姿を認める。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>つるつるのだろだんご</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨日つくつただろだんごを友達同士で見せ合うように言葉をかける。 ・ 友達がつくつただろだんごを感覚的な言葉を使つて価値付けている幼児の姿を認めていく。
10:40	<ul style="list-style-type: none"> ○ 片付ける。 ・ 手洗い, 排泄をすませる。 ○ 集まりをする。 ・ 絵本「もこもこもこ」 「だろだんご」を聞く。 	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p><u>砂場で遊ぶ</u>: 運動会の練習が中心だったため, 最近十分に遊ぶことができていない。強い遊びの欲求を示している。(土山にも目を向けてほしい。)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ だろだんごの光度を幼児相互で確認することができるように写真を掲示しておく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>かちかちのだろだんご</p> </div>
11:30	<ul style="list-style-type: none"> ○ 降園準備をする。 ○ 降園する。 	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p><u>竹馬乗りをする</u>: クラスの 9 割が乗れるようになってる。(高い竹馬に興味をもち, 挑戦しようとする幼児を見守っていききたい。)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ だろだんごの硬さを教師に価値付けしてもらおうとする幼児に対し, 友達に尋ねてみるように助言する。 ・ 雨どいなどを利用して, 転がす場づくりを幼児と一緒にする。

6 環境構成図
(晴天時)



※ 環境構成図
(雨天時)

環 環境の構成 **援** 教師の援助



どろだんごづくり

※テントを準備しておく

環

- ・違った種類の土を準備しておく。
- ・さら砂を幼児と共に準備しておく。
- ・できあがっただんごを入れる箱を準備する。

援

- ・どろだんごをつくる過程を見守り, 共感する。
- ・友達の気付きにも目を向けさせる。

だんご転がし

環

- ・雨どいや台を準備しておく。
- ・だんごをつくり準備しておく

援

- ・だんごが転がる仕組みを幼児と一緒に考える。